

「健康経営銘柄」に10回目の選定 合わせて「健康経営優良法人」として9年連続で選定

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、経済産業省と東京証券取引所が主催する「健康経営銘柄」に選定されました。今回で10回目の選定となります。

これは従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を「健康経営銘柄」として選定するものです。TOTOは健康管理・メンタルヘルス対策・健康増進(健康づくり)を三本柱とした健康配慮の取り組みが評価され、選定されました。また経済産業省と日本健康会議が共同で特に優良な健康経営^{※1}を実践している法人を認定する「健康経営優良法人(大規模法人部門)ホワイト500」には9年連続で選定されました。



TOTOグループは、企業理念として「一人ひとりの個性を尊重し、いきいきとした職場を実現します」を掲げ、多様な人財^{※2}が安心して働き、イキイキとチャレンジできる会社を目指し、健康経営を推進しています。「人」が最も大切な財産であるという考え方から、社員とそのご家族に長く充実した社会生活を過ごしていただくため、長期的な視点で健康維持・増進に取り組んでいます。また、健康リスクを層別のうえ会社・健康保険組合・UNION(労働組合)と連携して年代や役職ごとにさまざまな施策を展開し、環境変化の中でも社員自らが自身の健康を管理できるよう「健康リテラシー^{※3}」の向上に重点的に取り組んでいます。

TOTOグループは「共通価値創造戦略 TOTO WILL2030」のマテリアリティの一つである「人とのつながり」の取り組みとして、働くすべての人々の心とからだの健康づくりを推進していくとともに、一人ひとりがイキイキと働き続けられる環境づくりに継続して取り組んでいきます。

※1:「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標^{※2}:TOTOグループでは、社員は重要な財産との考え方から「人財」と定義しています。
※3:健康に関する正しい情報を入手し、理解して活用する力



トイレに掲示しているポスター



健康増進を目的としたウォークレー中の
ゲームイベントの様子

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境

人とのつながり

「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>